

労働者の怒りが自民党を倒した

労働者の団結した力こそ社会変革の力



日米韓3カ国から5700の労働者が参加した
昨年の全国労働者集会。今年はさらに多くの国
から闘う労働者が参加します。ここに集まって
自民党を倒した怒りを団結した力にしよう！

全世界の労働者の未来をかけて、

●国鉄1047名解雇撤回！

●生きさせる！ 派遣法撤回！

●改憲・戦争と民営化・労組破壊に立ち向かう
労働者の国際的団結を

11・1全国労働者総決起集会

正午・日比谷野外音楽堂

■「民主党支持じゃなくて自民党への反対票さ」 ■「絶対に投票したかった、もう自民はいや」 ■「年寄りを大切にしてほしい。足が悪いが投票所まで必死で行って入れた」 ■「息子は給料が安くて食べていけない」 ■「規制緩和でタクシーが増やされて食べていけなくなった」(タクシー労働者) ■「小泉改革は田舎と庶民をいじめるだけだった」 ■『もう枠が埋まった』と断った会社が、すぐまた求人していた。偽装求人だ」 ■「自民党が作りだした今の状況に我慢できなくなった」 ■「社会を変えてほしい」 (投票日翌日の新聞各紙に載った投票行動の動機のごく一部です)

すべての教育労働者のみなさん！

8・30総選挙は、時代の大きな転換点になりました。積もりに積もった労働者の怒りと憤激で、戦後の自民党支配が劇的に吹き飛ばされ、崩壊しました。なにより、中曽根に始まり小泉で頂点に達した規制緩和、民営化という名の、首切りと福祉切り捨て、そして戦争政治の新自由主義に対する底の底からの怒りの爆発です。

しかし、事態は始まりにすぎません。誰もが感じているように、労働者の現実には民主党ではけっして変わらないからです。どこまでも労働者を踏みつけにして肥大太ってきた、資本家階級の支配そのものを終わらせなければ決着しないからです。

民主党-連合の結託体制をぶっ飛ばそう

連合や日教組の幹部たちが「民主党の与党」として労働者を支配する側にまわりました。民主党と連合の「政策協定」には「公務員改革を断行する」と明記され、民主党が第1に掲げる「無駄遣いの根絶」とは公務員をはじめとした首切り・賃下げ・非正規化のことです。

官房長官にパナソニック出身の電機連合幹部平野博文が座わり、次期連合会長に着くのが同じくパナソニック出身の古賀伸明。いずれも労働貴族として松下資本とべったり癒着してきた連中です。彼らは今まで以上に資本の言いなりになって、労働者の首を切るために働くのです。

民主党の正体が明らかになるのはこれからです。鳩山はさっそく「日米同盟は基軸」と言い放ちました。道州制・民営化も、橋下大阪知事と結託しました。

労働者の怒りがさらに大きく爆発するのもこれからです。いまこそ極限まで追い込まれた職場の怒り、青年の怒りで、

民主党-連合の結託体制をぶっ飛ばそう。

資本主義の終わり

自民党の崩壊は世界大恐慌という資本主義の終わりのあらわれです。「底をついた」とか「回復のきざし」という宣伝とはうらはらに、失業がとめどなく拡大しています。大恐慌の本番はこれからです。資本家は労働者と農民への極限的な搾取・抑圧と、戦争によって生き延びようとするでしょう。社会の矛盾、資本家と労働者の対立はどんどん激化します。全世界で労働者が立ち上がっています。その一端が日本でも「1票革命」になって爆発したのです。

このとき、労働組合の名で労働者の決起を押しとどめる、最後の防波堤が民主党・連合結託政権です。今職場から連合支配をうち破り、資本主義そのものに断を下す絶好のチャンスが来たのです。

たたかう労働組合が必要だ

今回自民党は、労働者と労働組合への恐怖と憎悪をむきだしにして、『労働組合が日本を侵略する日』などというおぞましいリーフレットをばらまきました。自分たちがやってきた新自由主義がどれほど労働者・民衆を怒らせているかに戦慄し、労働者が団結して、自分たちに立ち向かってくることを心底恐怖しているわけです。

そうです！いま労働組合が問題になっているのです。

ところが民主党も、それを支える連合も、日本共産党も社民党も全部、労働者の怒りと決起におびえて、それを押さえ込む側に回りました。共産党は恥知らずにも「オバマ賛美」一色です。こんな連中に未来はありません！資本の手先に転落した一切の労働幹部を現場から打倒して、今こそ闘う労働組合と労働運動を甦らせよう。

いま私たちには動労千葉を先頭に勝ち抜いてきた国鉄1047名解雇撤回闘争があります。道州制360万首切り・民営化をうち破る勝利の経験があります。

世界を変革する力は、闘う労働者の団結にあります！世界の労働者とともに11月1万人集会を実現しよう。

たたかう労働運動の新たな潮流をつくろう！

東京労組交流センター教育労働者部会

連絡先 米山良江(東京教組「君が代」処分被解雇者)
TEL 090(9838)-0343 E-Mail enpitu@adachi.ne.jp

東京都台東区元浅草 2-4-10-5F ■2009年9月10日発行

ビラへの感想・意見、職場の状況、怒りの声などメールでお寄せ下さい。

11・1日比谷野音に集まるろう